空間上手

2012
61
SPRING

木で暮らす生活を提案
心と体を満たす、自然豊かな山の家

夢つながり
はなあーと 新和建設 フラン

匠の技
新春決起集会及び講演会のご報告

新和ニュース
テレビコマーシャル制作舞台裏へ潜入!

心の風景
可児市下恵土に、「恵木の杜」オープンしました!

木香の森　リ・Home 館

木で暮らす生活を提案

心と体を満たす、自然豊かな山の家

長山淳一さん・悠華さん　ご夫妻（愛知県豊田市）

今回は豊田市にお住まいの、長山さんのお宅を訪問してきました。もともと街育ちだったという長山さんが、香嵐渓からほど近い、自然豊かな土地に移り住んだ理由を、新居のご様子とともに伺っていきましょう。

写真／中村和子　文／有田幸司

山の中腹に建つ、天然木のお家

長山さんご一家は、香嵐渓で有名な足助町近く、豊田市の山間部にお住まいです。昨年春から入居したばかりのお家には、ご主人の淳一さん、悠華さん、莉子ちゃん（5歳）、紗子ちゃん（3歳）の4人がお住まいです。

新居は昔は農家だったという、奥さまの実家の一角に建っています。長山さんのお宅は、新和建設の木楽暮ブランド。江戸時代の蔵屋敷を思わせる和風の外観に、明るい天然木が彩りを添えています。周囲と調和する日本建築でありながらどこかモダンなその建物は、遠目からでも人目を惹く貫禄を備えています。

「体にやさしいお家」がコンセプト

長山さんのお家は「安全な素材で作られたお家」がコンセプトです。建材には化粧板や、クロスは一切使われず、誰が見ても、天然木と自然の素材で作られていることが一目で分かります。

もともとは、豊田の中心街で育ったという淳一さん。悠華さんとご結婚後も、しばらくは豊田市街に住んでいたそうです。今の土地に移ってこられたのは、ご自身がシックハウスアレルギーを煩ったことがきっかけでした。「自然豊かな環境で、安心できる素材でできたお家で暮らしたい」との思いで、転居を決断されたのだそうです。

悠華さんもまた「自分が育った自然豊かな土地で、子どもに育って欲しい」「おじいちゃん、おばあちゃんがいる環境で子どもを育てたい」と考えていたため、悠華さんのご実家のお隣に、新居を構えられたそうです。

叔父さんが大工さん

こうして転居を決めた長山さんご夫婦でしたが、淳一さんのシックハウス症状もあり、家づくりを何処に頼むか、精査を重ねたそうです。展示場に足を運び、建材の質と安全性を吟味したところ、もっとも信頼できる建築会社として新和建設を選ばれました。

実は悠華さんの叔父さんは、両親が住む母屋を建てた新和の大工さん。家の素材から工法まで隅から隅まで知り尽くしたその叔父さんと、納得いくまで議論を尽くしたのですから、淳一さんも安心して家づくりを任せられたそうです。

こうして叔父さんと、その息子さん（悠華さんの従兄弟）が担当のもと、新居は作り上げられました。自然豊かな環境で、安全・安心な素材で出来たお家に住まい、今では淳一さんのお体もすっかり完治したそうです。

天然木につつまれた、暖かい空間

では、新居の内部を伺ってみましょう。玄関をくぐると、頭上高く広がった勾配天井が、明るく開放的な家のリビングを予感させます。家族が一緒に過ごす1階は、リビング、ダイニング、キッチンが縦並びに配置された長方形状の空間です。この一体感あるリビング・ダイニングでは、頭上の天井板、壁の腰板、そして床板には東濃檜が贅沢に用いられ、壁は白の珪藻土が使用されています。柱には、通常宅の3倍数という檜柱が贅沢に用いられ、堅牢でありながら、暖かみのある生活空間を演出しています。実に、20畳の広大な空間の大部分は、無垢の天然木で覆われており、見ているだけで心が温まります。

実際に、リビング・ダイニングは、冬は最小限の暖房でも保温性が高く、夏は廊下に通じる引き戸を開けるだけで、風が家中を吹き抜ける構造となっているため、冷房はほぼ必要ないそうです。

仕切りのない形状のため、リビング・ダイニングのどこにいても、子どもたちの様子がわかります。奥さまはキッチンで料理しながら、子どもたちと会話出来るのがお気に入りだそうです。

2階に上がると、窓からは、豊田の山々を一望できるレイアウト。特に、淳一さんの書斎からは、まるで別荘に来ているような美しい自然の景観が味わえます。耳を澄ませば、小川のせせらぎと、小鳥のさえずりが聞こえる環境で仕事が出来るなんて、羨ましいですね。

夕飯は三世帯で囲む

新居のお隣に建つ母屋には、奥さまのご両親がご健在です。夕時には、三世帯の家族が、新居リビングにあつまり、夕食をいただくそうです。すっかり健康になった淳一さんは、毎日お義父さんと晩酌を楽しむそうで、今度は休肝日を作らないと、と苦笑していらっしゃいました。食材も近隣で採れた新鮮な材料が手に入るので、奥さまの料理のレパートリーも広がっていて、新居に住んでいいことづくめのご様子です。

新居の住み心地について伺うと、「ここに住むようになって、気持ちが豊かになりました」と淳一さん。信頼できる人々と、安全な素材で築いた新居で、これからも素晴らしい毎日が続きそうです。

夢つながり

あたたかい夢を胸にがんばる人たちは、みんなどこかでつながっている。そんなゆるやかでシアワセな“志縁（しえん）”をご紹介します。

文／都筑里美

はなあーと

愛知県名古屋市天白区元植田 1-907
電話：052-804-8187
年中無休　10：00～19：00

「女の子が憧れる職業ランキング」で、いつの時代も上位を占める「お花屋さん」。一度でも夢見たことがある人なら、きっと胸をときめかせるお店がある。その一つが、名古屋市天白区にある「はなあーと」だ。

生花、花関連のグッズ、雑貨、家具、ガーデニング、カフェ。〝花屋のディズニーランド〟を目指してつくられたというその店舗は、まさに女の子の夢が詰まっている。

平成7年のオープン以後、東海エリアのガーデニングブームの先駆け店として広くメディアに取り上げられ、急成長してきた。

「はなあーと」は店舗立ち上げまで、フラワーコーディネートが事業の中心だった。そのため店舗運営に関して、スタッフはほとんど全員素人だったのだ。

そんな出発だった「はなあーと」が今は、生花だけでなく、園芸、雑貨、カフェ、ガーデン施工、教室と、「花のある生活提案」を軸にここまで事業領域を広げてこられたのは、責任と権限を与えられたスタッフそれぞれの挑戦意欲と努力の賜物なのだという。

イングリッシュガーデンが日本で一般的でなかった時代。英字の専門誌をお客さんに見せながら、ガーデニング部門の営業を行った。しかし、春の長いイギリスと、四季がはっきりしている日本では、育つ草花や、開花シーズンが大きく異なった。そのため独自の研究を重ねながら、日本の風土に似合うガーデニングを開発していったという。カフェの責任者も、コーヒーの入れ方から勉強を始めた。オープン一ヶ月はコーヒーと紅茶しかないカフェだった。それが、今ではランチタイムは平日でも予約がないと入れないほど人気のカフェになった。

今、全国の花屋さんやガーデンショップなどが、店に見学に訪れる。「はなあーと」は、そんな志を共にする仲間たちとノウハウや情報を共有しあいながら、お互いに進化発展する店を作り、日本中に「花のある生活提案」の場を作っていきたいと思っている。夢の輪は、ますます広がっていく。

新和建設 フラン

<フラン展示場>
木香の森　フラン展示場
愛知県北名古屋市鹿田合田 240
恵木の杜　フラン展示場
岐阜県可児市下恵土 2993-1

「はなあーと」の柱の事業に、ガーデニング部門がある。洋風の建築にふさわしい、しかも日本の土地にあった草木でつくる「はなあーと」のガーデニングは、多くの専門誌やテレビに取り上げられて来た。実は、新和建設の洋風建築である木香の森「フラン」のモデルハウスのガーデニングは、「はなあーと」が手がけたものだ。

一般的には、建築会社は庭作りをエクステリア業者に依頼する。新和建設にとって、花屋に庭の総合プロデュースを依頼するのは初めての試みだ。「はなあーと」にとっても建築会社との直接のコラボレーションは初めてだそう。新たな「繋がり」からうまれた素敵な空間をぜひ見に来てほしい。

コメント：新和建設 渡辺 綾子さん

フランはお家で長く過ごす奥様の目線で考えられたお家です。お家にいることを楽しむというコンセプトには、窓の外を彩るガーデニングは欠かせません。女性に人気の「はなあーと」さんのご協力を頂いて、奥様が毎日手入れをするのが楽しくなるようなお庭ができました。

PHOTO-ESSAY

自由とは何かと考える

写真・文／加藤光博

群馬県館林市にて毎年春に行われる、「世界一こいのぼりの里まつり」。世界一の名のとおり、その圧巻たる数の多さでギネス記録にも認定されているという。その迫力を目の当たりにしようと、相棒であるカメラを提げて現地へと向かった。

はじめは、自分の想像をはるかに超えたスケールの大きさに衝撃を受け、ただひたすらシャッターを切ることに夢中になっていた。しかし、しだいにその光景にも見慣れてきた頃、ふとあることに気付いた。

それは、時折訪れるそよ風でこいのぼりたちが揺れた時のこと。目の前にあるこいのぼりたちが泳ぎ出すと同時に、水面に映ったこいのぼりたちも一斉に泳ぎ出したのだ。

この瞬間を目撃したとき、ふと、自由だな、と思った。

職人の手によって1匹1匹心を込めて作られたこいのぼりが、命を吹き込まれ、自分たちの意志をもって、空の中でも水の中でも自由に泳ぎ回っているように思えたのだ。

自分も、このこいのぼりたちのように、自分の意思によって自由でありたいとも思った。

子供から大人へ、学生から社会人へと歳を重ねると共に社会との接点が増していく中で、決められたルールの中で生活することがどうしても必要となってくる。自由という言葉を定義することは難しいと思うが、決められたルールの範囲内で自分の思いを持ってどれだけ行動に移せるか、ということであると私は思う。

こいのぼりを見て、自由だな、と思ったのは、自分自身では自由に生きていると思っているつもりでも、心のどこかで不自由さを感じていたことの表れなのかもしれない。

歳を取るごとに自分の持ち前である行動力が少しずつ鈍ってきていることに多少なりとも自覚はあったけれど、館林のこいのぼりたちにそれを改めて気付かされたような気がした。自分なりの自由のために、錆び付いた自分の行動力に磨きをかけていきたい、そう思った一日でもあった。

匠の技

新春決起集会 及び 講演会のご報告

文／伊東かおり　写真／中村和子

1月19日、北名古屋市文化勤労会館にて平成24年度新和建設新春決起集会及び講演会を開催しました。今年も多くの協力会社の皆様にお越しいただき、盛大に開かれました。

社長方針発表では吉村良三社長から、今年はテレビCMを作成・放映していくことや新商品開発などに取り組んで行くことが伝えられました。続いて、役員発表として新しく取締役となった吉村浩人さんと、藤井健さんの決意表明を行い、各役員から事業部ごとの事業計画の発表を行いました。

さらに協力業者代表の吉川商会吉川雅文さんの挨拶では、共通用語集と駐車迷惑カードの配布について言及されました。共通用語集は、新和建設で働く全ての方（協力業者様・新和建設社員）が何気なく使っている言葉を統一し、お互いが気持ちよく円滑に仕事を進めるために作られ、今後は毎年更新して配布をして行くことが確認されました。また、同じく協力業者代表の加茂水道工業奥田重信さん、棟梁会代表の中平豊久棟梁からも挨拶をいただきました。

感謝状の贈呈後はいよいよ講演会です。今年はチベット人歌手のバイマーヤンジンさんにお越しいただきました。大阪で約20年暮らしているというだけあって流暢な関西弁を巧みに使い、チベットと日本文化の違いや、家族を思う心について、笑いあり、涙ありのお話とともに、美しい故郷の讃歌を歌い、会場中に大きな感動を与えてくださいました。

最後はインテリアマルイチの盾丈人さんからの、決意表明です。新和建設と協力業者の皆様との連携をより密にしていくため、「いっぴょん締め」という、その名の通り、ぴょんとジャンプをしながら柏手を打って締めとなりました。

新和ニュース

テレビコマーシャルの制作舞台裏へ潜入！

文／梶野碧　写真／中村和子

新和建設では、3月からテレビコマーシャル（CM）を作成・放映しています。その制作舞台裏の様子をいち早くお届けします。

今回作成したCMでは、リフォームのビフォーアフターを分かりやすく紹介します。内容は、新和建設が新しく作成した冊子「リフォームで失敗しないための　丸秘　GUIDE BOOK」を読んでいると、背景の家が突如として新築のように生まれ変わる、というものです。

まずは前半部分、実際に同計画で古民家再生されたお宅の前で撮影が行われました。がっしりと建てられた鉄骨には古民家のプリントをされた布が張られています。

布を一気に下に落とすことで、背景の古い家が一瞬にして新しい家に生まれ変わったように見えるのだそうです。

続いて後半は、木香の森フラン展示場にて撮影し、リフォーム部の稲葉好彦さんも登場しました。さすがに家づくりのプロフェッショナルも、カメラには不慣れなご様子。しかし、何度も撮り直し、納得の仕上がりとなりました。

CMは今後も、東海テレビ・中京テレビ・CBC・メ～テレ・テレビ愛知にて放映予定ですので、ぜひご覧ください。

心の風景

可児市下恵土に、「恵木の杜」オープンしました！

文／伊東かおり　写真／中村和子

1月3日、可児市に新しい総合展示場をオープンしました。「恵木の杜」と名付けられたこの展示場には、フラン、リフォーム館、カルチャーサロン、ガーデンギャラリーが入っています。オープン期間中は福袋や、つきたてホヤホヤのお餅の振る舞いの他に、お琴の新春コンサートも開かれて、大変なにぎわいとなりました。

正面向かって左のリフォーム館には、大きな梁や柱を使った古民家再生体験スペースが広がっています。古民家の懐かしい雰囲気を醸し出す小物たちは、藤井副社長自ら調達してきたとのこと。昭和初期に作られた茶箪笥や、大八車の車輪、暖炉用の薪の近くに飾られた背板（背負い子とも言う）だけでなく、イギリス製のネジ巻き式の振り子時計は壊れていたので、わざわざ直して設置をしたそうです。

また、中央のとんがり屋根が印象的な平屋の部分はカルチャーサロン「恵のサロン」のスペースとなっています。入会金などは一切なく、どなたでも気軽に参加できる講座を開催していますので、ぜひ一度ホームページの恵のサロンのコーナーをご覧ください。

さらに、向かって右の建物は、フラン展示場となっています。家族の中で多くの時間を過ごす奥様の目線を大切にして設計されたフランは、まさに女性の夢のお城のようです。また、ガーデンギャラリーコーナーでは、エクステリアやガーデンの体験をすることができます。

可児市の幹線道路沿い中日ハウジングセンターすぐそばとなっておりますので、新和建設可児展示場とともに、一度足を運んでみてはいかがでしょうか。みなさまのご来場、お待ちしています。

活けてる日々

四季折々、私たちの日々を彩り、楽しませてくれる植物について、ちょっといい話、役立つ知識を紹介します。

文・写真／山崎智子

入学・卒業・人事異動など、春は環境の変化が激しい季節ですね。

その為に情緒不安定やストレスから胃腸の不快感を覚える方も多いのではないでしょうか。

このような症状を訴える方に相性のいい花がアルストロメリアです。

この花の色合いが弱った胃を温めてくれるのと同時に心も暖め、脳を刺激して明るくおおらかな気分にしてくれます。

黄色には心を内から覚醒させる力・集中力を高める力・好奇心をかきたてる力もあるので、ぼんやりとした意識を活性化する効果があります。

「春眠暁を覚えず」といいますが、このお花を側に置くことで頭もスッキリとし、ワクワクとした気分で毎日をお過ごし頂けたらと思います。

おおごえこごえだより

息子夫婦と同居して５年、新和建設さんの家に住んで５年。孫２人にも恵まれ、家族皆元気で過ごしています。私も家を建てるときにこだわりがあり、階段に２カ所の花台を作ってもらいました。時間を見つけてはお花を飾っています。そのお花を見ては、孫が誉めてくれます。家族の心の癒しです。（大垣市／Ｈ様）

お花を飾られていらっしゃるのですね。私もお花は大好きです。笑顔のお孫さんときれいな花に囲まれていらっしゃる様子が目に浮かびました。これからの季節、お花の種類も増えてきますね。ぜひ「活けてる日々」のコーナーも参考にしていただきながら、これからもお花を楽しんでください。

PHOTO-ESSAY の写真は幻想的で、素敵でした。また、フランは若い家族にピッタリですね。一方で、60 号は細かい誤字があり読んでいて引っかかりました。お節介かと思いますが、指摘させていただきました。（北名古屋市／Ｈ様）

コメントありがとうございます。そして、誤字のご指摘も誠にありがとうございます。今後、このようなことのないよう、充分に注意して参ります。
読者の皆様には、大変ご迷惑をお掛け致しまして申し訳ございませんでした。
この場をお借りしてお詫び申し上げます。

編集後記

■3月11日深夜。私はパリ・ユネスコ本部にて行われた、佐渡裕さん指揮の「3・11メモリアルコンサート」を、同時中継のユーストリーム配信で鑑賞しました。インターネットで見るクラシックコンサートは、思いの他映像も音質も美しく、とても充実した時間となりました。何より、同じ時刻に違う国で日本を想って演奏してくれていることにとても共感し、世界はつながっていることを実感しました。（伊東かおり）

発行・新和建設
発行人・吉村良三
編集人・伊東かおり
書・湯浅千久
Thanks・中村和子　山崎智子　有田幸司　都筑里美　加藤光博　木村善則　梶野　碧　村田元夫　戸上昭司
取材協力・長山淳一さん、悠華さん　株式会社はなあーと
Printing・ブラザー印刷株式会社

本社・本店Life住宅館
愛知県北名古屋市野崎山神15番地
TEL 0568-23-0536　FAX 0568-22-3012

美濃加茂支店・夢の住宅館LEGEND
岐阜県美濃加茂市本郷町9-15-60
TEL 0574-25-6631　FAX 0574-25-6608

高山支店・LIVEすまいる館
岐阜県高山市松本町34-1
TEL 0577-32-8782　FAX 0577-32-8783

岐阜黒川支店
岐阜県加茂郡白川町黒川1646
TEL 0574-77-1314　FAX 0574-77-1314

一宮展示場
愛知県一宮市丹陽町五日市場字本地38番地
TEL 0586-81-3375　FAX 0586-81-3376

神宮東展示場　神宮東中日ハウジングセンター内
愛知県名古屋市熱田区三本松町25-1
TEL 052-883-5305　FAX 052-882-3581

黒川東展示場　黒川東中日ハウジングセンター内
愛知県名古屋市北区猿投町2
TEL 052-914-5730　FAX 052-914-5731

蟹江展示場　CBCハウジング蟹江インター住まいの公園内
愛知県海部郡蟹江町北新田1-60
TEL 0567-94-1555　FAX 0567-94-1556

可児展示場　可児ハウジングセンター内
岐阜県可児市下恵土字針田4100
TEL 0574-61-1638　FAX 0574-61-0721

多治見展示場　多治見ハウジングセンター内
岐阜県多治見市上山町1-4
TEL 0572-25-6777　FAX 0572-25-6858

春日井展示場
愛知県春日井市西山町2丁目6番9
TEL 0568-86-8878　FAX 0568-86-8868

高山展示場
岐阜県高山市松之木町308
TEL 0577-32-8782　FAX 0577-32-8783

四季彩の杜　木楽暮展示場
岐阜県可児市下恵土宇野区路880
TEL 0574-25-6631

木香の森　木楽暮展示場
北名古屋市鹿田合田240番
TEL 0568-68-6015　FAX 0568-25-0980

株式会社新和建設

http://www.sinwanet.co.jp/